



赤磐

令和6年9月議会 第79号

市議会だより



赤磐市議会ホームページ



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

ホームページ
では議会の情報
や、本会議、委
員会の中継を配
信しています。

赤磐市議会

検索

CONTENTS

9月定例会のあらまし	2P
委員会のうごき	5P
13人の議員が一般質問	9P

令和6年度補正予算（一般会計・特別会計）25億9192万円の増額補正を可決

主な内容（歳出）**一般会計（20億4783万円増額）（第4号）**

- ・庁舎等整備事業（3億円） ・道路改良事業（8億8441万円）
- ・公立保育園保育環境向上事業（3億7780万円）
- ・学校施設改修事業（1億6969万円） ・埋蔵文化財発掘調査事業（8587万円）

国民健康保険特別会計（2億4311万円増額）（第1号）**後期高齢者医療特別会計（230万円増額）（第1号）****介護保険特別会計（2億8708万円増額）（第2号）
外3会計****9月定例会の
あらまし****議案審議**

9月定例会を8月28日から9月27日まで31日間の会期で開催した。議案中、10件を承認、14件を可決、請願1件を継続審査、1件を採択とした。

財産の取得について（追認）

問 取得が4月4日に契約、4月30日に変更契約となったのはなぜか。

答 4月になり授業が始まるまでに契約をということで、4月4日に契約をしたが、実際に授業が始まり実数が確定したので精算をし、減額変更となった。

公立小学校の教師用教科書等の購入。

財産の使用貸借について

問 契約額はいくらで何年契約なのか、内装等の改装など今後進める予定があるのか。

答 使用貸借なので賃料は発生しない。内装等の改装は行いが市と協議の上、必要な部分を相手方の費用で改修する。使用後はそのまま返却してもらう予定である。

リピート吉井の土地、建物の使用貸借。

赤磐市バス運行に関する条例の一部を改正する条例

問 熊山へ新たにデマンド型市民バスを導入されるといふことだが、定時定路線とデマンド型のすみ分けの説明を。

答 定時定路線型は、幹線道路等に沿って時刻表に基づいて運行し定められた停留所で乗降をするもの。デマンド型は、予約をして自宅周辺の乗り場から地域内の医療施設、商業施設等で乗降するものである。

赤磐市電気自動車用急速充電器使用料の徴収に関する条例

問 使用料の納付方法について説明を。

答 納付方法は、スマートフォンのアプリか、事業者が発行する充電認証カードでの課金システムによる決済となっている。現金は使用できない。スマートフォンのアプリを使っているのは、事前の納付は、事前にクレジットカード情報の利用情報登録が必要である。

赤磐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

問 この改正でどう変わるのか。

答 マイナンバーカードの交付を受けている者は、自分のカード代替磁気的記録を自分が使用する移動端末設備（主にスマートフォンを想定）に記録し

て利用することができることが法律に規定されたことで条例内に条ずれが発生した。改正の内容は、法の改正による用語の改正で趣旨や内容が変更になるものではない。

修正動議

議第52号 令和6年度赤磐市一般会計補正予算
(第4号) に対する修正動議

今回の修正案は新拠点整備に係る予算を減額するもので、歳出では土木費の道路新設改良費、8億8441万2千円。また教育費の文化財保護費(埋蔵文化財発掘調査費用)、8587万円、合計9億7028万2千円を減額し、それに伴い、歳入も県負担金、合併特例事業債など減額するもの。

【賛成討論】

(1人)

▽多額の税金負担が赤磐市のためになるのか、赤磐市議会が問われている。もう少し時間をかけて、市長の考え方、計画の全容を議会として議論を深める必要がある。大切な事業であるがゆえに間違った判断をすべきではない。慎重に赤磐市議会を取り組むべきだ。良識ある議員の皆さんの判断を仰ぎたい。時間をかけて議論を深めたい。よって賛成する。

討論

認第1号 令和5年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

(1人)

▽市民は3年余りのコロナ禍で大変厳しい生活を

余儀なくされてきた。財政調整基金など有効に使って市民が願っている暮らしや福祉・教育・農業などにもっと予算を使うべきだ。よって反対する。

認第2号 令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

(1人)

▽国保税があまりにも高過ぎて払えないという切実な声を聞く。子供の均等割を免除すべきだ。赤磐市独自で思い切った子育て支援を行うべきだ。よって反対する。

議第51号 岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

【反対討論】

(1人)

▽健康保険証を廃止することは、60年かけて築いてきた日本が世界に誇る国民皆保険制度の破壊そのものだ。国民健康保険制度を守るためにこの規約変更にも反対する。

議第52号 令和6年度赤磐市一般会計補正予算(第4号) について

【反対討論】

(2人)

▽大規模な開発計画になっている。いろんな問題が起こってくると思う。今回これらの大開発について一歩進める予算になっているが、時間をとって十分調査してからでも遅くないと思う。よって補正予算に反対する。

【賛成討論】

(1人)

▽この予算は新拠点において、コストコあるいは

ナカシマホールディングスに来てもらう環境を整備するための予算だ。ぜひ気持ちよく来てもらうために賛成する。

請願

請願第1号 大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型商業者への影響回避についての請願
【継続審査】

請願第4号 赤磐市が計画している新拠点整備の早期実現のため赤磐市議会が推進役となっていたためための請願
【採択】

【要旨】

市民の代表である市議会議員が市の今後の発展のため多くの市民が希望を託す計画に賛同してもらい、市役所と市議会が両輪となって推進していくことを熱望する。

このような大事業を進めるにあたり、赤磐市の将来のため、子供たちにとって魅力ある街づくりのため、議決機関である市議会に適切な判断をしてもらい、新拠点整備が早急にすすんでいくことを切に願う請願する。

令和6年9月第3回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	佐藤 武
認 第 1 号	令和5年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	一
認 第 2 号	令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	一
議第43号	赤磐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	一
議第47号	赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	一
議第51号	岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	一
議第52号 (修正案)	令和6年度赤磐市一般会計補正予算(第4号)	否決	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	○	○	●	●	一
議第52号 (原 案)	令和6年度赤磐市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	退席	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	●	●	●	○	一
請願第1号	大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型商業者への影響回避についての請願	継続審査	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
請願第4号	赤磐市が計画している新拠点整備の早期実現のため赤磐市議会が推進役となっていたためための請願	採択	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	一

○＝賛成 ●＝不賛成
※佐藤武議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
認 第 3 号	令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 4 号	令和5年度赤磐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 5 号	令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 6 号	令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 7 号	令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 8 号	令和5年度赤磐市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 9 号	令和5年度赤磐市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認定
認第10号	令和5年度赤磐市下水道事業会計決算の認定について	認定
議第39号	財産の取得について(追認)	可決
議第40号	財産の取得について	可決
議第41号	財産の取得について	可決
議第42号	財産の使用貸借について	可決
議第44号	赤磐市バス運行に関する条例の一部を改正する条例	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第45号	赤磐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第46号	赤磐市電気自動車用急速充電器使用料の徴収に関する条例	可決
議第48号	和気北部衛生施設組合の解散について	可決
議第49号	和気北部衛生施設組合の解散に伴う財産処分について	可決
議第50号	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合の共同処理する事務の変更及び規約変更について	可決
議第53号	令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第54号	令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第55号	令和6年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第56号	令和6年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第57号	令和6年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第58号	令和6年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算(第1号)	可決
議第59号	令和6年度赤磐市財産区特別会計補正予算(第1号)	可決

※この日程は予定です。正式日程は、11月19日開催の議会運営委員会で決定します。

11月27日(水)	議案上程
11月29日(金)	一般質問
12月2日(月)	一般質問
12月3日(火)	一般質問
12月5日(木)	質疑・委員会付託
12月9日(月)	産業建設常任委員会
12月10日(火)	総務常任委員会
12月11日(水)	厚生文教常任委員会
12月13日(金)	予算常任委員会
12月20日(金)	最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)

12月議会の
お知らせ

決算審査 特別委員会

9月9日、10日、11日に決算審査特別委員会を開催し、議案10件について審査した。

総務常任委員会所管部分

問 市税の不納欠損額が令和4年度は約491万円で、令和5年度は約964万円と473万円近く増額しているが何か事情があるのか。
答 令和2年度にコロナ禍で生活困窮等の理由で市税の執行停止を行った。令和5年度で3年が経過し、不納欠損で処理をしたため。

問 高齢者・障害者等公共交通利便性向上事業（ハレカハーフ事業）について、カード交付

件数が1981件、利用延べ人数は市内1万64人、市外694人とのことだが、市内・市外の違いは。
答 市内は乗降のどちらかが赤磐市内の人数。市外はそれ以外の人



ハレカハーフ

問 新婚世帯家賃補助金の交付金が令和4年度に比べて倍以上、交付件数も相当増えているがどのように分析しているのか。
答 令和4年度にコロナ交付金を使って10万円支給する結婚支援を行い、その時に新婚世帯家賃補助金や結婚新生活支援事業補助金を

併せて案内したこと、若い人に向けたSNSやウェブ広告などの反響があり交付が増えたと評価している。

問 防犯灯管理事業の電気料が令和4年度に比べ約880万円減額し、防犯灯リース料は3倍に増えている要因の説明を。
答 電気料は、国の緩和措置により料金が安くなったこと、防犯灯リース事業により蛍光灯からLEDに変わったことで、1基当たりの電気料が安くなった。

リース料は、LED化事業が令和4年度で終了し、令和4年度は4カ月分だが令和5年度は12カ月分の支払いで、今後10年間は同額のリース料を支払うことになる。

厚生文教常任委員会所管部分

問 コンビニ交付の手数料はコンビニ交付セ

ンター運営負担金221万円だけか。

答 コンビニ交付に係る手数料は、それ以外に1件あたり117円の手数料がかかる。他にデータセンター使用料772万円がある。



コンビニのマルチコピー機

問 地区敬老会は現在の内容で今後も事業を続けるのか。
答 交流会や親睦会を継続してほしいという考えはあるが、区長、町内会長、自治連合会等とよく話し合い方向性を出したい。

問 福祉タクシー事業の利用件数が減少しているが要因を分析しているか。

答 WAKUWAKUタクシー券と対象者が重複している部分もあり、WAKUWAKUタクシー券を使った人が相当数あると考えている。

問 埋蔵文化財試掘確認調査事業で事業者と埋蔵文化財の取り扱い調整を行ったとあるが、事業内容について説明を。
答 岩田地区の開発事業に先立ち、岩田地区内でトレンチ調査を9カ所で行い、文化財の有無を確認した。9カ所中5カ所に文化財があり調整を行った。

産業建設常任委員会所管部分

問 松くい虫特別防除事業の実施地区、実施時期は。
答 散布区域は吉井地域の平山地区、八島田地区、暮田地区と熊山地域の熊山周辺。散布時期は5月21日と22

日である。マツノマダラカミキリの活動時期に合わせて薬剤散布を行っている。

問 学校給食地場食材利用拡大事業について啓発イベント、配達ネットワーク整備等を行ったとあるが、具体的に説明を。
答 直売所が野菜等の一覧表を作成し、給食センターに提出し、センターが直売所に注文するという仕組み。3つの給食センターと5つの直売所を結ぶネットワークを整備した。

問 新規就農者育成総合事業の対象者16名はどの地域に就農が多いのか。
答 特に一部の地域に集中しているわけではないが、作目の産地によって固まっている。

予算 常任委員会

9月20日に予算常任委員会を行った。議案8件について審査した。

周匝保育園の建て替えに3億7780万円増額

問 計画の流れはどのようなのか。予算は繰り越しになるのか。

答 今年度中に入札の準備をして来年度早々には工事に入り、新園舎の完成は令和7年12月頃。旧園舎から新園舎に引っ越しをし、旧園舎を解体する。財源は合併特例債を活用する。

問 解体を含めてこの予算でいけるのか。

答 合併特例債は解体までを対象とすることが可能である。議会で

繰り越しを議決すれば問題ない。

問 子供たちの安心・安全とともに職員の負担が減る設計か。

答 関係職員全員からの要望を全てまとめている。子供が遊んでいるところを、他の職員の目も届く職員室の配置など配慮して設計を今考えている。

問 アスベストの調査も解体工事に入るか。

答 調査は必ずすると想定している。

保育園運営事業に3275万円増額

問 予算が2本あるがなぜか。

答 391万円が私立保育園に出す給食費の補助額になる。もう一つが保育対策総合支援事業費補助金である。

埋蔵文化財発掘調査事業に8587万円増額

問 青の道路部分の事

前発掘調査をし、記録を残せばいいということか。※別図参照

答 包蔵地を通る道路は発掘調査が必要で、幹線道路部分の約2800平方メートル分の発掘調査を行い、記録保存を図るものである。

問 計画が定まらないのに予算計上するのは、か。そういうやり方は、議会軽視だ。

答 承諾を得てから予算計上となると、時間がかかる。ある程度予算の後ろ盾を得て進めたい。

問 記録保存の予算が入っていないが、記録保存にも何千万円と費用がかかる。市が費用



※別図

負担するのか。

答 原因者が負担となるので市の負担となる。

中学校費の一般管理事業に2682万円増額

問 桜が丘中学校の生徒がどのくらい増えるのか。普通教室をどの

答 磐梨中学校との選択ができるので、桜が丘小学校、山陽東小学校、山陽北小学校の児童が桜が丘中学校に多く行くと、普通教室が足りなくなる。3階会議室を仕切って普通教室を2つ作る想定をしている。

熊山武道館の空調整備工事に係る経費に319万円増額

問 緊急避難施設に空調設備を入れる流れの一環で、中学校等の体育館にも空調設備が計画的に入っていくと理解すればよいのか。

答 山陽、熊山、赤坂、吉井、それぞれの地域に1次避難場所を設定している。熊山地域は武道館なので今回整備する。空調の効かないところもあるので、担当課とも調整をしながら検討する。

道路改良事業に8億8441万円増額

問 8億8441万円の内容は。

答 道の駅を含む公共ゾーンの整備費に3億6848万円。道路整備費に5億1593万円。

問 土地購入費の金額は。

答 現状の農地を新たに不動産鑑定をして買い取る。公共ゾーンの土地購入費3億6千万円、産業振興ゾーン外の市道の774万円、民間が造成し市が買い取る土地購入費6400万円である。

問 道路整備費の工事

請負費4億2607万円の内容は。

答 岩田長尾線に係る交差点部分の改良工事である。

問 これは交通渋滞の対策か。

答 下市方面と岡山方面からの県道の右折レーンを設ける工事で交通渋滞の対策である。

問 県道の拡張工事は県がすべきではないか。

答 県道については、市道へ入るための右折レーンなので市が整備するものと考えている。

問 民・民で行うと説明されていた産業振興ゾーンに市道の土地購入費があるのはなぜか。

答 この道路は地区道路として本来市が整備する道路であり、民間開発と併せて道路工事でも民間で行うことで調整ができています。市としては工事の負担が大きいのでメリットが大きい。用地については市が購入する。

問 人口の移動、動態構成や車が入ってくる台数など、具体的な計画の下に行くべきではないか。

答 渋滞対策は基本的には大型商業施設の床面積から交通量を想定する。

問 この8億8441万円は合併特例債が利用できるのか。

答 合併特例債の要望を一次で行っており、承諾を県の方からもらっている。二次要望も行っていく。

問 産業振興ゾーンの市道工事費の見積もりはしているのか。

答 民・民で行う工事だが、市で行えば2、3億円かかると試算している。

問 産業振興ゾーンの市道にしようとしている道を枝線と呼んでいるのはなぜか。

答 平成28年に現在の市道は認定を行っている。起点・終点だけ市

道認定で交付金もらっている。今回地区計画が決まり、現在の市道の幅を9・3メートルから20メートルにし、枝線を16メートルにするため再申請をする。呼び方は主道路と従道路が正確である。

総務 常任委員会

9月18日に総務常任委員会を行った。議案4件について審査した。

財産の取得について

問 高規格救急自動車の耐用年数はどのくらいか。

答 12年から13年を更新計画に盛り込んでいる。計画的に更新を進めている。

問 この救急車のラン

クはどのくらいか。
答 標準的な仕様の救急車である。



高規格救急自動車

赤磐市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

問 スマートフォンに取り込むということだが、安全性の問題はないのか。

答 マイナンバーカードの情報がスマートフォンに入る状態になるが、マイナンバーカードにはパスワード

が設定されており、使用時に入力等が必要であるため、安全性は担保されている。

赤磐市バス運行に関する条例の一部を改正する条例

問 デマンドバスの利用が増えた場合、ドライバーク等の対応は十分か。

答 利用が増えた場合、合、積み残しの発生や運転手不足という懸念があるが、車両については市所有の車両の貸与や、運転手不足については二種免許取得時の補助制度もあり、事業者の支援も併せて行っている。

問 貨客混載事業では、運転手の責任が増えることになるが、その分の費用等はどのようなのか。

答 現在も運行費用の不足分については補填しており、今回も同様に運行にかかる経費の

援助をする。

赤磐市電気自動車用急速充電器使用料の徴収に関する条例

問 料金の支払い方法が充電認証カードとEQ電アプリということだが、現金支払いはできないのか。

答 すべて課金システムによる支払いとなっており、現金による支払いはできない。

問 条例の中で使用制限や禁止行為等が書かれているが、こういった内容をどこかに掲示するのか。

答 現在も取り扱いの方法等については、現地にチラシを貼るなどしている。禁止行為等も併せて周知徹底したい。

問 この充電器は量や金額を自分で設定できるのか。

答 機械側の操作で可能である。

厚生文教 常任委員会

9月13日に厚生文教常任委員会を行った。議案7件について審査した。

財産の取得について（追認）

公立小学校の教師用教科書等の購入

問 なぜこの金額（5714万円）が議会を通さなくても良いと



自動車用急速充電器

思ったのか、過去にも
こういう事実があった
のか。

答 学校ごとに契約を
締結していたが今回一
括契約、一括購入とな
り、このような事態と
なった。過去にこのよ
うなことはない。

問 取得方法が随意契
約となっているが、岡
山県内に教科書を扱う
会社は岡山県教科図書
販売株式会社だけなの
か。

答 岡山県の場合は、
この一社のみであり、
教科書指導書の購入先
が特定されるため、地
方自治法施行令の規定
に該当し、随意契約と
した。

財産の取得について

赤磐市環境センターの
バグフィルター布の
購入

問 随意契約というこ
とで1社であるが、そ
の理由は。

答 契約の目的、内容

に照らしてそれに相応
する資力、信用、技術、
経験等を有する相手方
を選定し、契約をする
方法が合理的と判断し
た。性質または目的が
競争入札に適さないも
のであり、随意契約を
締結した。



赤磐市環境センター

赤磐市国民健康保険 条例の一部を改正す る条例

問 健康保険証が使い
えなくなるから、条例改
正をしなければならな
いのか。またどのよう
に変わるのか詳しい説
明を。

答 国民健康保険法が
改正され、12月2日か

らマイナンバーカード
と被保険者証を一本化
し、従来の被保険者証
を廃止することが決定
されたことによるもの
である。被保険者証の
返還に応じない場合の
罰則部分を削除するも
のである。

岡山県後期高齢者医 療広域連合規約の変 更について

問 後期高齢者医療の
被保険者証がなくなる
が、資格確認書が発行
されるのか。

答 マイナ保険証を
持っていない人には資
格確認書が交付される。
問 資格確認書は申請
しないと発行されない
のか。

答 職権で交付するよ
うに通知がされている。

産業建設 常任委員会

9月17日に産業建設
常任委員会を行った。
議案2件、請願2件に
ついて審査した。

財産の使用貸借につ いて

問 経費節減のため現
状で貸し出すとなつて
いるが、耐震化等はど
うなっているのか。

答 リピート吉井の竣
工が平成8年2月なの
で、新耐震基準以降の
建物である。

貸出期間中の改造 は返還時どうなるのか。

答 改造したものは元
に戻してもらう。

使用目的はなにか。

答 従業員の宿泊施
設、会議室、研修等に
使用と確認している。



リピート吉井

請願第1号 大型商 業施設コストコの出 店に係る地域密着型 事業者への影響回避 についての請願

主な意見

- ・まだ懸案事項がたく
さんあるので継続審
査にすべきだ。
- ・見方によってはコス
トコが来ないでほし
いというように取ら
れる可能性があるの
で反対である。
- ・コストコにはつきり
決まっていな段階
で、今議論している
最中である。十分審
査するため継続審査
にすべきだ。

請願第4号 赤磐市 が計画している新拠 点整備の早期実現の ため赤磐市議会が推 進役となっていただ くための請願

主な意見

- ・議論が尽くされてな
いので継続審査にす
べきだ。
- ・新拠点の整備を早急
に進めてほしいとい
うことなので賛成で
ある。
- ・情報がまだ出てなく
てこれからまだ議論
がいくと思うので継
続審査にすべきだ。

本会議最終日に、請
願第4号は継続審査の
委員長報告が否決さ
れ、委員会でも再審査
した結果、賛成多数で採
択となり、本会議にお
いても採択と決定した。

一般質問

市の考えを問う



13人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
金谷 文則 10ページ	・有害鳥獣対策と特定外来生物対応策等について ・農地が耕作されず、雑草地となっている問題について ・独自性を持った教育環境の整備について ・市長と市議会の関係について	保田 守 14ページ	・住宅の耐震診断について ・地震への備えについて
安藤 利博 10ページ	・文化・観光振興策について ・施設利用について ・公共施設の活用方針	治徳 義明 14ページ	・認知症対策について ・多文化共生施策について ・山陽団地の活性化について
大森 進次 11ページ	・介護保険事業計画の進め方について ・高校生の通学に配慮したバス運行を ・ジャンボタニシ対策について ・桜が丘中央のショッピングセンター跡地等について	大口 浩志 15ページ	・砂川にかかる橋について ・運動会の実施方法について ・公有財産の活用について ・認知症診断について ・南海トラフ地震臨時情報について
下山 哲司 11ページ	・地方の人口減少について ・地方交付税について ・雨水対策について	原田 素代 15ページ	・子育て中の家族にもレスパイト制度が必要 ・フリースクールが必要である ・立地適正化計画だけでなく、田園都市構想の計画も同時に市民へ提案するべきである
松田 勲 12ページ	・赤磐市の DX 推進とキャッシュレス決済について ・市の職員全員で取り組む通報システムについて	佐藤 武文 16ページ	・立地適正化計画の情報を共有する義務はないのか ・5 年先の赤磐市の農業は大丈夫か ・敬老会助成金が生かされない理由は何故なのか ・新たに生まれ変わる公民館に活気は戻るのか ・高陽中学校の体育館は防災拠点施設に指定をされているのではないのか
永徳 省二 12ページ	・全国学力テスト結果について ・子どもの体力について ・地域おこし協力隊について ・ため池の管理・防災について		
鼻岡 美保 13ページ	・学童保育の現状と、6 年生までの実施について ・コロナ感染及びワクチン接種による後遺症に対する相談窓口 ・公共施設における Wi-Fi の設置及び稼働の状況 ・桜が丘中央地域の整備について		
福木 京子 13ページ	・PFAS 問題について ・子育て支援策として国保の均等割の減免を ・学校給食への地元農産物利用拡大施策を ・新拠点構想での市民への説明会をもっと行うべき		

表紙の一言

9月13日に赤磐市トップアスリート交流事業で、ニュージーランドホッケーチームのコーチ4名が赤坂中学校に訪れました。

コーチたちの、明るく優しい表情とジェスチャーでの指導により、英会話に不安を感じていた生徒も楽しくホッケーや交流が行えました。

最後にコーチから「自分の夢や目標を言葉にして言うことはとても大切だ」と言葉をかけられました。



金谷文則議員

独自性を持った 教育環境整備について



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 将来の赤磐市のた
めに、今やらなければ
ならないのは教育環境
のさらなる整備だ。現
状は問題ないか。地域
格差はないか。特に学
力向上と多様性、そし
て不登校やいじめにつ
いて、教育委員会とし
てどのように考えてい
るか。

答 独自性のある教育
環境整備には、地域や
学校の特色を生かした
取り組みが重要。各学
校それぞれが立てた学
校教育目標に向け、「目
指す子供の姿」を具体
的に上げ取り組んでい
る。

問 旧赤坂地区の小学
校が統合されることと
なり、統合後について
地域の独自性を生かし
た多様性を求められる
教育をと、特に笹岡地

区の皆さんが取り組ん
でいる。特に、学校跡地
を利用して小規模特例
校ができないかと意見
書も出されているが、
どのように考えるか。

答 学校だけでなく地
域全体で学校を支える
ことを目標としたコ
ミュニティ・スクール
の導入も検討している。

問 市長と市議会の関
係について、どのよう
に考えているか。

答 赤磐市をより魅力
的で住みやすい、住ん
でみたい街になるよ
う、さまざまな施策を
展開するた
めの両輪と
考える。

問 6月議
会の請願審
査に対する
対応は問
題なかった

か。産業建設常任委員
会に付託された請願
「大型商業施設コスト
コの出店に係る地域密
着型商業者への影響回
避について」委員会審
査の前に市長が委員に
対し、直接電話をかけ
た。市民から議会にあ
てた請願について、審
査前に電話を市長がす
る行為は議会への干渉
ではないか。

答 請願審査は議会に
おいてされるもの、今
回の対応については、
不徳の致すところで、
申し訳ない。



「学びの多様化学校の設置に向けて」の引きき

文化・観光振興策



安藤利博議員

DXを活用し「行かない・ 書かない窓口」を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 赤磐市の文化財、
地質資源を観光資源に
作り上げるのは商工観
光課ではないか。

答 地域の魅力を発信
するためには、特定の
部署だけでなく、さま
ざまな部署が連携して
広く進める必要がある。
商工観光課としても
横の連絡、連携を取り
観光振興に役立てたい。

問 備前国分寺跡は駐
車場もトイレもない。
地元の人の努力で祠
が再建された血洗滝神
社周辺のトイレは閉鎖
中。地元の人々の努力
に報いる意味でトイレ
はすぐに整備しないか。

答 駐車場やトイレの
整備は用地の確保、建
設費用や維持費、周辺
地域の理解などクリア

すべき課題があり、慎
重に検討すべき課題と
考えている。
観光客が訪れるのな
ら、トイレなどは必要
に応じて検討すべきと
考えている。

公共施設の活用方針

問 施設の利用状況は
窓口に行くか電話で聞
かないと分からない。
申込み、利用料金支払
い、鍵の受け渡しも窓
口に行かないとできな
い。スマホ時代に合っ
たシステムを考えない
か。

答 キャッシュレス決
済、電子式の鍵の開閉
は近いうちには実現す
るが、現在導入には
至っていない。現在進
めている公式LINE
を通じて実現の可能性
を探っていく。

問 継続して活動して
いる団体は1年前には
次の公演の日程を決め
ている。少なくとも
ホールの予約受付は他
市町のように1年前か
らにできないか。

答 近隣市町もホール
に関しては1年前から
申請できるところが多
く、客席のあるホール
については、早期に予
約できるよう検討する。



閉鎖中の血洗滝周辺のトイレ



大森進次議員

介護保険事業計画は 市民協議で進めるべきでは



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 介護保険事業計画の進め方は。

答 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現を基本理念として、医療、介護、予防、住まいなど、包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築を目指した事業計画を策定している。

市独自の対策は。

答 大規模な被害の情報は入っていないが、岡山県農業共済組合には、今年に入って2件の被害報告があると聞いている。各農家では、田植直後に水田の水を浅水にするなど対策を講じている。

最近では市北部へも生息域が広がり、被害の拡大が心配される。

市は対策として、有効と考えられる安価な捕獲器の情報など、関係機関と共有している。

桜が丘中央の跡地利用について

問 現状の課題解決に向けての市の考えは。

答 隣接する土地で、市が大和ハウスと交換した土地の利用、活用は。現状と課題解決に



開発が待たれる桜が丘中央の跡地

向け、これまで所有者と良好な関係を保ち、それぞれの意向を尊重し話し合いを重ね一歩ずつ前進してきている。

桜が丘の魅力の向上、過去に行ったアンケート結果を反映した単体の土地利用ではなく、中央部全体の土地利用を視野に入れた活用を検討していく。



下山哲司議員

雨水対策について、 水路のゲートの采配は



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 改良区が管轄する水路のゲートは、災害時には行政が采配すべきではないか。

答 土地改良事業で造った樋門等の操作について、いま一度再点検して、効率よく内水を円滑に排除できるような努めていく。

人口減少の問題は

問 人口減少対策に交付税がうまく使われていないのではないか。

答 人口減少等特別対策事業費、地域社会再生事業費等があり移住・定住の促進、子育て環境、教育環境の充実を図るための取り組みなどに活用している。

問 人口減少対策で子供は医療費も給食費も無料にするのはどうか。18歳までの子供の

医療費を全額補助、給食費は第3子以降を無料化した。また、りんくステーションで、子育てや障害者の相談支援をしている。

コンサルタント会社は

問 ノウハウ不足から多くの自治体が東京などのコンサルタント会社に頼っている。戦略策定や地方創生事業に怪しいコンサルが入り込み、自治体の財源を搾取する構図がある。赤磐市にはそのようなことはないのか。

答 公益通報制度を設け、通報がしやすい状況をつくり進めている。

問 赤磐市に関わっているコンサルが議員にお金を振り込んだ実態があったが、そのコンサルがいまだに赤磐市



問題の水路のゲート



松田 勲議員

市のDX推進と キャッシュレス決済は



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 自治体DXとは、

アナログ処理をしていたことがデジタルに移行され、データを基に、市民に対してさまざまなサービスができるようにすることである。

市は、このDX推進

にどのように取り組んでいるのか。また、行政窓口や施設の利用にキャッシュレス決済の導入についてどのような進めているのか。

答 総務課デジタル推

進班が中心となり、住民情報システムの標準化対応、庁舎内のペーパーレス化、職員研修によるDXに対する意識改革に取り組んでいる。また、ハレカハーフ事業や本年度実施するLINE事業等を進めている。行政手続のオンライン等の標準化

事業については、令和7年10月から移行予定としている。

収納事務や職員の窓口業務の負担軽減等を推進するキャッシュレス決済が可能となる仕組みは、令和7年度の前半で実現したい。

職員全員で取り組む通報システムを

問 市内の道路や周辺の環境状況等について、職員一人一人の目で見て感じた情報を的確に担当課に伝えていくシステムを構築し、

職員同士が共有することも必要だと考える

が、現在、どのような対応をしているのか。



現在は現金のみの窓口支払い

答 道路異状に関する通報は、市職員からの

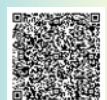
庁内メールや電話により建設課に情報提供している。現地の確認を行い、必要な措置を講じている。日常のパトロールは、シルバー人材センターが定期的に実施し対応している。

市の職員からの通報の情報を集約するというものはないが、LINEのシステムと併せて検討していく。



永徳省二議員

全国学力テスト結果は 目標到達できず



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 教育長の感想は。

分析結果は。

答 本調査の学年を経年変化で見たときに、岡山県や全国の平均との差を縮めることができています。

問 KGI（重要目標達成指標）は達成できたのか。

答 全国学力調査の結果の平均正答率は、目標に及ばなかった。

問 来年度以降のKGI数値目標は。

答 プラス1ポイントを目指す。

問 目標達成のための具体的施策は。

答 各校の学力向上に向けたアクションプランを基に授業改善や校内研修の充実に向けて継続的な支援を行い、1人1台端末の効果的な活用を推進したい。

問 成績上位県の施策を水平展開しないのか。

答 学習指導に関する研究内容の成果を市内教職員へ還元していく。

子どもの体力

問 スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」によると、子どもの体力低下は中四国では岡山県が最大で7・2ポイントの低下。赤磐市の状況は。

答 スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」によると、子どもの体力低下は中四国では岡山県が最大で7・2ポイントの低下。赤磐市の状況は。

答 赤磐市の子どもの体力、運動能力については、いずれも県の平均を下回っている状況であり、課題として捉えている。

ため池の管理・防災

問 ため池防災工事について、着工済み、

着工予定は何箇所か。未着工先はいつまでに着工するのか。

答 令和5年度までに330池のうち213池で調査を実施し、77池で何らかの改修が必要という結果だった。昨年度までで4池の改修が終了、1池は廃止。今年度5池の改修を予定、現在2池で事業化に向け調整中である。

2024年度 全国学力テスト結果

		国語	算数
小学校	全国平均	68	63
	県平均	68	62
	赤磐市	67	62
	全国平均との差	▲1	▲1

		国語	数学
中学校	全国平均	58	53
	県平均	59	53
	赤磐市	58	55
	全国平均との差	±0	+2

全国学力テスト結果の表



鼻岡美保議員

桜が丘中央地域の整備を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 独自に取り組んだアンケートの回答に、なぜ河本・岩田なのか。道の駅と同時並行で赤坂・熊山・吉井地域の計画も必要ではないか。また、市有地の緑化をとの声もあるが。

を担う大人として育てるための体制としてはどうか。また、朝早く出勤する保護者のために朝の児童クラブを実施すべきでは。

フルエンザと比べ侮れない病気だ。相談窓口を設けるべきではないか。ネーミングのある組織にして、広報などで発信してほしい。

答 「職住近接・子育てするならあかいわ市」を目指し、若い家族が利用しやすい施設配置を考える。

答 6年生は40名程度利用している。全ての受入れができていないとは言えないが、私立クラブの運営把握や指導は適宜対応している。

答 健康増進課に新型コロナウイルススワッチン接種対策室を存続させ、対応している。病気や障害が残った場合の申請手続の案内等も行っている。

市有地の防草対策は費用がかかるが、歩行者の安全対策は必要だ。

「赤磐市子ども子育て支援事業計画」見直しのため、市民アンケートを計画しており、今後5年間の運営を検討する。子育て施策の検討が全国的な動きになっており、早朝実施するクラブも研究したい。

「赤磐市子ども子育て支援事業計画」見直しのため、市民アンケートを計画しており、今後5年間の運営を検討する。子育て施策の検討が全国的な動きになっており、早朝実施するクラブも研究したい。

放課後児童クラブ

問 共働き家庭が増加しているが、赤磐市は6年生までの受入れはしないのか。希望者全員が入れているのか。

児童クラブに約1億8876万円補助しているが、将来の赤磐市

ワクチン接種後遺症の相談窓口の設置を

問 新型コロナはイン



駐車場利用されている桜が丘中央地域の市有地



福木京子議員

P F A S の水質検査を 定期的にすべき



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 内閣府の食品安全委員会は1日当たりの許容摂取量は体重1キログラム当たり20ナノグラムと設定。欧州に比べ60倍以上の緩いものだ。水道水などの水質検査を定期的に行うこと、水源近くの監視体制を強化すべきだ。

他の健康保険と同じような額にするため均等割の減免をすべきだ。

新拠点構想を市民にもっと説明せよ

答 全額免除するには約1250万円必要。税収増と行財政改革を行い市費を生み出し、子育て支援策として前に向きに考えていく。

問 行政のやり方が不透明だ。徹底的に説明会を行い市民の疑問に答えていくべきだ。

答 段階に応じた説明会の必要性は認識している。交通渋滞や防災面について検討や地元との調整を行う。

答 国の通知で年1回行うことになっている。過去の検査で全ての検査地点で目標値を下回っている。水源地における監視は職員が日常点検時に産廃がないことを確認している。

問 地元農産物の利用を増やすために目標を持ち、体制をつくること大切。値段が下がったとき、価格保証を行い安心して作れるように市が支援すべきだ。

答 現在の仕組みは素晴らしいので、この取り組みをさらに拡大していく。農業振興を図っていくことがそれに繋がると考えている。

国保の均等割の減免を

問 未就学児の均等割は無料である。高校卒業までだといくら掛かるのか。群馬県渋川市などでは一般会計を使って減免している。

答 現在の仕組みは素晴らしいので、この取り組みをさらに拡大していく。農業振興を図っていくことがそれに繋がると考えている。

答 現在の仕組みは素晴らしいので、この取り組みをさらに拡大していく。農業振興を図っていくことがそれに繋がると考えている。

現在、市が支援すべきだ。

現在、市が支援すべきだ。



新拠点地域の岩田・河本の現在の状況



保田 守議員

命を守るための耐震対策



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 6月議会において私の質問に執行部の答弁は、令和7年に耐震診断率95%を達成目標として掲げているとのことだが、今どのように進めているのか。

答 令和3年3月に策定している赤磐市耐震改修促進計画の中で、令和7年度末における耐震化率の目標値を95%としていて達成するために財政的支援として、耐震診断・補強計画・耐震改修工事に要する費用の一部を補助している状況だ。普及啓発としては、赤磐市ホームページへの掲載、広報紙にリーフレットを折り込んで全戸配布、耐震化の必要性を考えてもらうためのブース展示等を実施している。

問 庁舎1階ロビーで命を守る耐震対策をテーマにイベントを考えている。耐震工事です使ったもの、木材の接統部分などを展示して、細かく説明できるようにしたい。

答 命を守るにはどうすればよいか、一人一人生き残るためには何をしなければならぬのかを多くの市民に見てもらい一緒に考えたい。市と協力してイベントを開催したいが、市の考えはどうか。

答 地震に対して命を守ろう、財産を守ろう、市と業界の情熱のある人々が力を合わせるというところを、市民にぜひ見てもらいたい。

問 9月に県庁で耐震シエルトと防災



金属製の屋根がついた防災ベッド枠

ベッドの展示会があった。柱や構造物が倒れてきても命が守れるもので、耐震工事ほど費用がかからず、倉敷市や岡山市が補助金を出している。赤磐市もぜひ検討してもらいたい。

答 大きな地震の対応策をしつかりやる必要があると感じている。具体的にどのようにやるか研究して前に取り組みたい。



治徳義明議員

認知症対策は最重要課題である



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 認知症サポーター養成講座の充実は。

ている。

答 3904人のサポーターが育っている。重要な課題であり、今後、啓発活動に取り組む。

問 若年性認知症の支援体制は。

答 地域包括支援センターで対応する。

多文化共生社会

問 認知症ピアサポート環境の整備や有効なケア技法であるユマニチュードの普及促進等が必要ではないか。

問 赤磐市の外国人住民数は。

答 613人である。10年間で倍以上に増えている。

問 コミュニケーションの向上を図ることは職業生活上、日常生活上、必要不可欠であるとともに、日本の習慣等を理解してもらうことに通ずる。それをサポートする日本語教室の設置が必要であるが、赤磐市は空白地域であり、対策が急務では。

答 本年、プレ教室を開設し、次年度以降にモデル教室を開設する。

問 災害が頻発化、激甚化する中、市民の安心安全を守るとともに、多言語対応機能のある「赤磐版の防災アプリ」の導入は。

答 情報発信のツールとして有効な手段である。導入を検討する。

問 多文化共生推進プランの策定は。

答 ニーズを踏まえて研究を進める。

問 今後、ますます増加することが懸念される認知症高齢者の行方不明者対策は。

答 市内86事業者と協定を締結して、地域で見守る体制を整備している。また、SOSネットワーク事業の推進とともに、GPSを活用した対応の負担軽減のための補助制度も行っている。

問 赤磐市は空白地域であり、対策が急務では。

答 本年、プレ教室を開設し、次年度以降にモデル教室を開設する。

問 災害が頻発化、激甚化する中、市民の安心安全を守るとともに、多言語対応機能のある「赤磐版の防災アプリ」の導入は。

答 情報発信のツールとして有効な手段である。導入を検討する。

問 多文化共生推進プランの策定は。

答 ニーズを踏まえて研究を進める。

問 今後、ますます増加することが懸念される認知症高齢者の行方不明者対策は。

答 市内86事業者と協定を締結して、地域で見守る体制を整備している。また、SOSネットワーク事業の推進とともに、GPSを活用した対応の負担軽減のための補助制度も行っている。

問 赤磐市は空白地域であり、対策が急務では。



認知症サポーターカード



大口浩志議員

砂川に架かる橋の 改修計画進捗状況は



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 正崎の橋・町苅田の橋の改修計画の進捗状況は。

答 正崎の橋は、地元との協議が整い、今後詳細設計・用地測量という形で着手していく。町苅田の橋は、県から現位置で拡張の案が示されているが、地元調整が進んでいない。

市は周辺の道路状況等を鑑み、別線を作ったほうが早いし、コストも抑えられるという案を県に示したい。

運動会の実施方法について

問 希望があれば、冷房設備のある体育館で行えるよう準備ができるか。

答 学校の規模、移動等さまざまな課題があるが、このようなオプ

ションもありますよと学校・園に知らせていく。

認知症診断について

問 現状把握のために、認知症診断を定期健診と同じような考えで導入できないか。

答 認知症対策は、財源の件もあり一気にはできないが、できることからコツコツとやっていく。

南海トラフ地震情報について

問 受け止めと、市民への周知の在り方は。

答 防災計画に基づく情報共有と連絡体制等の再確認を行った。さまざまな場所での情報発信を行い有事に備えた情報共有を行っていく。

公有財産の活用について

問 利用可能な公有財産があると積極的なPRが必要ではないか、ホームページに掲載できないか。

答 地元の意向等も踏まえながら、企業誘致等につながるよう検討していく。



改修が待たれる「あかね橋」



原田素代議員

立地適正化計画には 市全体の発展計画が必要



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 河本・岩田地区の面積は約120ヘクタールで、これは市全体の面積の約0.6%。ここに40億円かけて効率化・合理化のコンパクトシティを目指す「立地適正化計画」を成功させるには、田園都市地域と呼ぶ0.6%以外の地域の発展計画を提案すべきで、河本、岩田だけではなく計画が同時に出ないと片落ちではないか。

答 市内全体の発展を見据えた計画が必要である点については、その通りである。

問 0.6%以外の土地の人たちに対するまちづくりは、どういった案ができるのか、市が問われている重要な課題だと思う。既に市民の力で分析し提案が

出ている。それに市は必要な予算付けをし、支援する「多機能自治」を目指さないのか。

答 地域の人と協議しながら協働で進めたい。

問 子育てのレスパイト（休憩）制度が必要である。

答 障がい者の制度はあるが、子育て家庭にも必要であろうと思う。

問 市内には出産できる医療機関がなくなつた。瀬戸内市に新たに助産院を開いた助産師と、和気町の議員でもある助産師が中心に、美作市にも開設された助産院との水平展開により、そこで妊娠、出産から産後ケアなど女性の心身のサポートを助産師によって支えるネットワークを目指す

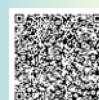


レスパイトミライの表紙



佐藤武文 議員

コストコの誘致はあるのか、ないのか



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 さまざまな情報が拡散されているが、コストコの誘致があるのかないのか。

答 トップセールスを行い最終意思決定ではないが、2社前向きに検討している。

問 赤坂・熊山・吉井地域の将来のまちづくりも同様に検討すべきではないか。

答 第三次総合計画を策定中だが、現在地の各域連携を図りながら市全域の発展を推進していく。

問 過去の開発は全て開発業者の負担で行われているが、今回も同様に進めているのか。

答 長尾にある総合流通センターと同様の方式で、民間と行政と区別し工事を進めていく。

5年先の赤磐市の農業は大丈夫か

問 農業関係者の話では、先が見えず生産者の減少が見込まれる。赤磐市独自の施策を打ち出す時期ではないか。

答 強い農業の確立プログラムをさらに強く進め、就農等支援センター事業の整備を進めたい。

敬老の日は何が目的か

問 敬老の日は何が目的で国が設置している休日なのか、高齢者に対し最善の措置を図る議論を重ねる必要はないのか。

答 多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う目的で、敬老事業では交流できる催しをお願い



雨漏りがしている高陽中学校体育館

いしている。体育館の重要性は

問 雨漏りしている高陽中学校の体育館は、防災拠点施設ではないのか、体育館の重要性についての認識があるのか。

答 多くの市民や子供たちに迷惑をかけていることをお詫びする。

11月30日(土) 開催

議会報告会開催のお知らせ

議会報告会を開催します。当日は、議会報告と懇談会を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

熊山地域

場所：くまやまふれあいセンターホール

時間：午後1時30分から午後3時

山陽地域

場所：桜が丘いきいき交流センター会議室

時間：午後7時から午後8時30分

参加議員

実盛・佐藤武文・福木
松田・治徳・光成
大森・安藤・牛尾

吉井地域

場所：吉井会館多目的ホール

時間：午後1時30分から午後3時

赤坂地域

場所：赤坂健康管理センターホール

時間：午後7時から午後8時30分

参加議員

佐藤武・下山・金谷
原田・大口・保田
永徳・鼻岡

議会全員協議会

主な協議・報告事項

8月21日

- ・令和6年9月第3回・会期日程の変更に
赤磐市議会定例会に
ついて
- ・決算審査特別委員会
について

8月29日

- ・令和6年9月第3回・会期日程の変更に
赤磐市議会定例会に
ついて

9月20日

- ・議会報告会につい
て

まちづくり調査特別委員会

主な協議・報告事項

8月21日

- ・事業の進捗状況について
- ・ニーズ調査について

議会ICT推進委員会

主な協議事項

8月1日

- ・次年度以降のタブレット運用について

厚生文教常任委員会 視察研修

厚生文教常任委員会
は6カ所の視察を行っ
た。

7月11日

- ①仁美保育園
- ②佐伯北保育園
- ③黒本保育園(休園中)
- ④周匝保育園
赤磐市吉井地域保育
園の長寿命化等基本方
針について、各保育園
の現状の確認。
- ⑤竜天天文台公園
竜天天文台公園の管
理運営について、利用
状況及び現状の確認。



- ⑥熊山保健福祉総合セ
ンター(ほほえみ)
熊山保健福祉総合セ
ンター内部改修及び空
調設備修繕について、
改修箇所の確認。

産業建設常任委員会 視察研修

産業建設常任委員会
は1カ所の視察を行っ
た。

7月23日

- ①周匝地内
「農地への太陽光発電
設備設置についての規
制を求める要望」にお
ける該当地とされる周
匝地内の現況把握と要
望書提出者及び現地農
業従事者との意見交換。



総務常任委員会 視察研修

総務常任委員会は1
カ所の視察を行った。

7月24日

- ①中央公民館・山陽保
健センター
赤磐市役所本庁舎等
改修工事における、中
央公民館・山陽保健セ
ンター部分について、
状況を確認した。



第54回岡山市議会議員研修会に参加しました

開催日

令和6年8月8日

場 所

高梁総合文化会館

演 題

「議員のなり手不足と地方議会改革」

講 師

東北大学大学院情報科学研究科
人間社会情報科学専攻 准教授 河村 和徳氏



所 感

議員のなり手不足について自治体の事例を交えて研修が行われた。住民とのコンセンサスをつくり、多様性のある議会を目指すことが必要である。改めて、議員のあり方や議会改革について考えさせられる内容であった。

ようこそ赤磐市へ

令和6年8月6日に、長野県大町市議会社会文教委員会が「部活動の地域移行について」の調査のため視察に訪れました。



長野県大町市議会

令和6年10月9日に、岐阜県羽島市議会総務委員会が「スポーツで未来へ希望芽生える健康まちづくり事業について」の調査のために視察に訪れました。



岐阜県羽島市議会

編集後記

今年も暑い夏で、9月になっても猛暑が続く、大変厳しい思いをしました。それでもスキが出てお月見で団子を食べ、「彼岸花はまだ咲かないのか」と言いつつ、お墓参りをし、なんだかんだ言っているうちに季節は変わっています。

また、1月に能登半島では大地震があり仮設住宅に入りやると復旧が始まったばかりだというのが、9月には大雨が降り、また大災害に見舞われました。ただただ心の中で復興を祈るばかりです。せめて国においては能登半島に必要な復興のための予算を早急に確保し、もう一度立ち上がるために尽力してほしいと期待しています。

広報広聴委員(広報部会)

部会長	光成 良充
副部会長	鼻岡 美保
委員	福木 京子
委員	大口 浩志
委員	保田 守
委員	安藤 利博